

A—106 調理技術に関する一試案

都立農林高 ○武藤八重子
お茶の水女大家政 松元 文子

1. 数多い調理について様々の分類，配列などが行なわれているが，調理技術の難易の面からみた分類，配列などに関する資料をあまりみない。このことは調理の指導上重要なことと考え，これに対する試案を提し批判を受けたい。

2. (1)調理の技術的な因子について考察した。(2)さまざまな調理方法，調理操作について，技術的原点にあると思われる中学一年生，やや初歩的経験を有すると思われる高校一年生，或は中程度の経験を有する食物専攻四年生を対象に実施テストをおこない，その結果とそれに加えた考察とから，それぞれの技術的因子に於ける難易度を判断した。

(3)難易度と繁閑などの観点から，それぞれの調理を点数

配列し，技術的な段階の試案を作製した。

(4)数種の調理操作については，練習回数によりその所要時間と成績がどの様に変化してゆくかを考察した。

3. (1)調理指導上の組立てに必要な資料が或る程度得られた。

(2)計器の使用が技術の習得に極めて重要であることが再認識された。

(3)調理操作について練習の必要度の有無，及び練習の効果についての資料が得られた。